

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 6 月 29 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(B) (特設分野研究)

研究期間：2015～2019

課題番号：15KT0007

研究課題名(和文) 沖縄地域在住高齢者の健康長寿と社会関係資本の関係

研究課題名(英文) Social connectedness, social capital and healthy aging in community dwelling older population in Okinawa and Japan

研究代表者

白井 ころこ (Shirai, Kokoro)

大阪大学・医学系研究科・特任准教授(常勤)

研究者番号：80530211

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、沖縄地域を含む日本人高齢者に社会疫学調査を実施し、健康長寿の社会的決定要因を検討した。結果から高齢期の社会関係資本と社会関係が健康長寿に影響することが示唆された。社会関係資本の量と種類の違いは、沖縄と日本の高齢者の死亡、認知症発症、生活機能維持と関連することが示された。また地域で役割をもって社会参加すること、社会関係の種類が多いこと、笑い、ポジティブな心理状態等が、認知症発症リスク低下と関連した。本研究成果は、国際共同研究として発展させると共に、地域における健康づくりプログラム策定のため、地域住民とのWSや研修会に活用した。本研究の成果により日本公衆衛生学会にて奨励賞を授与された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究成果の意義は、平均寿命・高齢化率の両面から長寿社会としてトップランナーである日本において、健康長寿の社会的決定要因(social determinants of healthy aging)を検討し、今後の介入・変化が可能な要因を含む、関連要因を明らかにしたことである。日本でも特徴的な沖縄地域を調査対象地域に含め、地域特有の社会資源にも着目し、ポジティブ・ネガティブの両面から、健康長寿に影響する要因を検討した。また、本研究結果を基にした、地域での健康課題解決を考える住民参加型のWS・報告会の実施は、地域で評価を得、豊かな老いを支えるための地域サービスへの展開の可能性も示唆されたと考える。

研究成果の概要(英文)：In this study, we attempted to examine psychosocial determinants of healthy aging in Japan. Our results showed decreased risk of mortality, dementia, functional limitation, depression in later stage of life with following factors; 1) social connectedness including social capital, mutual social support, social participation with social roles 2) positive psychological conditions including happiness, 'Ikigai'(purpose in life), laughter and optimism, and 3) socioeconomic background including education, childhood SES, income and economic levels. This study suggest social connectedness and positive psychological conditions are associated with healthy ageing as protective factors among older population in Japan. PI of this research project was awarded the incentive award of Japan Public Health Association(JPHA) based on the achievement of this research project.

研究分野：公衆衛生学、社会疫学、社会老年学、健康心理学

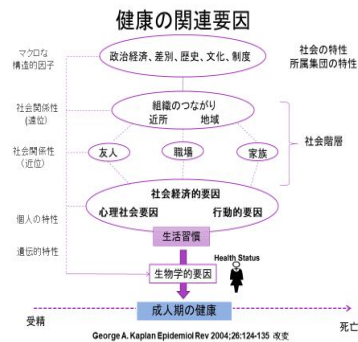
キーワード：健康長寿 社会関係資本 社会参加 ポジティブ心理要因 高齢者 ソーシャルネットワーク

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

平均寿命・高齢化率両面から、世界トップの長寿社会である日本において、沖縄は1975年の本土復帰以降、平均寿命が最も長く、100歳長寿者の人口10万人対の人数が最も多い長寿地域であった。1995年に世界長寿地域宣言をし、公的記録の確認を伴う世界有数の長寿地域として知られてきた。一方、平均寿命の伸長率は低く、2010年以降は男女ともに長寿日本一の県ではなくなり、2017年度の報告では、県別の相対順位でも、平均寿命の長さが全国で、男性30位、女性3位となった。近年は肥満率の高さや糖尿病の新規発生率の高さ、肝疾患、大腸がんり患・死亡等、生活習慣病指標の課題が多く、県内では特に、働き盛り世代の早世率や生活習慣病関連指標の課題が大きいことが指摘されている。沖縄県はかつての長寿の島としての特徴と、現在の生活習慣病課題の大きい地域としての特徴の両面を備えており、健康で豊かな老いの実現のためには、ネガティブ・ポジティブ両面から、健康長寿の社会的決定要因 (Social Determinants of healthy ageing) を検討することが急務となっている。

健康長寿の社会的決定要因として、社会経済的背景や生活習慣に加え、ソーシャルサポートやソーシャルキャピタル(社会関係資本)等、人と人のつながりや心理的な要因など、社会心理的資源の影響が諸外国をはじめ多く報告されている。一方で日本における実証データはまだ不足している。本研究では、健康長寿の社会的決定要因について、日本人の地域在住高齢者を対象とした健康とくらしの調査の一環として、沖縄地域ならびに大阪、神戸等の日本全国の他地域において調査を行い、死亡・要介護認定・認知症発症・うつ・機能維持等の健康長寿の指標に関連する社会心理的要因と、そのメカニズムの一端の検討を目指した。



### 2. 研究の目的

本研究の目的は、沖縄地域と全国の日本人高齢者において社会関係資本を含めた、健康長寿の関連要因を検討し、今後の超高齢社会における豊かな老いの実現と、地域における健康長寿の維持増進のための、政策立案やプログラム策定に資するエビデンスを提供することである。

沖縄地域においては、地域特有の高齢者の組織参加活動ならびに、地域社会参加に着目し、健康の社会的決定要因の視点から、高齢者の健康長寿への影響を検討することを目的とした。日本人高齢者において、サポート資源の多様性、役割を持った社会参加の機会、サポート授受のバランス、社会関係資本の多寡、またそのメカニズムの一部として、幸福感や笑い等のポジティブな心理資源に着目し、健康長寿との関係性を検討した。また、地域住民の健康増進や介護予防に資する地域資源や、社会心理的資源について、当該研究の知見ならびに研究データに基づく情報を市町村担当者、地域住民らと共有し、地域住民主体の健康増進プログラムを地域で住民参加のもと作成するための、基礎情報を蓄積することをもう一つの目標とした。

### 3. 研究の方法

本研究では、日本老年学的評価研究対象地域において、要介護認定を受けていない65歳以上の自立高齢者に対して郵送法による自記式質問調査を行い、回答を得た。質問票には、性・年齢等の基本情報、社会経済的背景、生活習慣、病歴、健康状態、地域参加やネットワークの状況、地域のつながりに関する情報、心理的幸福度、笑いや性格傾向等、その他の社会心理的状況を含めて、調査した。加えて本調査では、質問票の返送をもって同意した日本人高齢者男女に対して、介護保険データによる要介護認定・認知症発症・死亡等の評価判定を結合して、分析対象データとした。沖縄県においては、北部・中部・南部の3地域の市町村から協力を得て、市町村自治体の保健事業の一環として、それぞれ65歳以上自立高齢者を対象として、調査員訪問による留置法を採用して調査を行った。沖縄においては、同意書を伴う質問票への回答を得た者については、同様に介護保険データによる要介護認定・認知症発症・死亡等の評価を、健康状態の把握情報として分析に使用した。また、本研究課題のための分析には、2010年度、2013年度に調査実施し、その後追跡調査した対象者を含む既存データの分析と、2016年度、2019年度に新たに調査実施した調査データの両方を解析対象とした。

統計分析には、以下の沖縄県民データを寄託した全国高齢者調査データと沖縄県内の調査データを使用し、検討を行った。沖縄県民を含む全国高齢者調査データについては、生活とくらしの調査の有効回答者数 N=82,096 (男性:32,619・女性:42,136)のうち、分析対象の質問項目を含む、Version 質問票 (各20%調査対象者に配布) に回答した者18,045名を解析対象者とした。さらに分析には、ベースライン調査時点でADL非自立(N=1713)、入院中者ならびに要介護高齢者(N=1428)、うつ有病者(N=3387)を除き、13,697人(男性:5,579人、女性:6,298人)を分析対象者とした。2010年から3年間の追跡期間中の分析対象集団における死亡数はN=858 (男性:551女性:307)、要介護認定を伴う認知症発症は1,366人(男性:545女性:821)であった。

日常生活機能自立については、老健式活動能力指標(古谷野ら,1987)を用いて、手段的自立、知的能動性、社会的役割の3下位尺度を含めて、13項目の尺度を用いて評価した。認知症発症

の評価には、公的介護保険データによる認知症を含む要介護認定データを利用した。

分析には、ポワソン回帰分析を用いた男女層別による検討と、Cox 比例ハザードモデルによる生存解析を用いた。

#### 4. 研究成果

(1)本研究の結果から、沖縄地域においては、信頼性・互酬性の規範・ネットワークで評価した、社会関係資本(ソーシャル・キャピタル得点)の豊かさ、また社会関係資本の一形態と考えられる、模合組織への参加ならびに組織の特徴が、健康長寿と関連することが示された。全体での模合参加割合は、40.9%(男性:43.5% 女性:38.4%)(図1)であった。ソーシャル・キャピタル(SC)得点と日常生活機能自立との関係について、SC得点が高い方で3年後の日常生活機能自立のHRが高い傾向がみられた(図2)。また、模合参加者について、高齢期における機能障害発生のRRが低い傾向が示された。さらに模合組織の特徴別に関係性を検討した結果、特に男性では似た者同士が集まる結束型のソーシャル・キャピタル(bonding SC)、また女性においては、異なる背景や資源を持った人とつながる、橋渡し型のソーシャル・キャピタル(bridging SC)が、高齢期における機能維持と関連していることが示唆された。

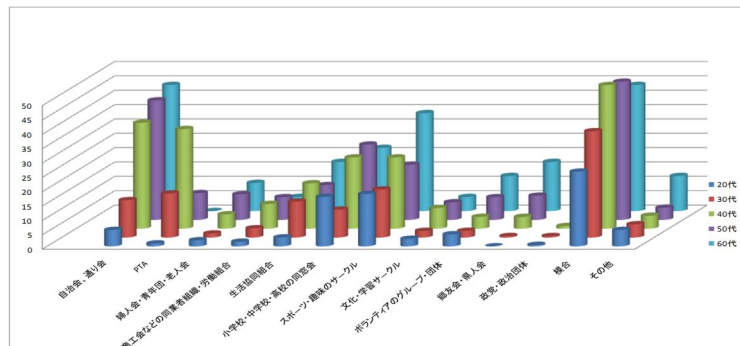


図1：沖縄地域における年代別に見た社会参加活動と模合参加割合

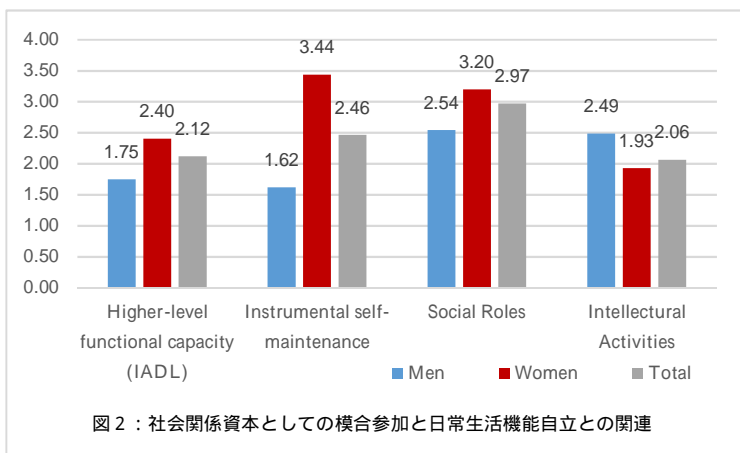


図2：社会関係資本としての模合参加と日常生活機能自立との関連

(2)沖縄地域においては、ソーシャル・キャピタル得点と、検診受診行動の関連が見られ、信頼性・互酬性の規範・ネットワークの3要素の合計得点で評価した、地域・個人のつながりが強い者でより検診受診している傾向が示された(Shirai K, et al, 2015)。

(3)また、全国の日本人高齢者データにおいて、認知的社会関係資本(信頼性・互酬性の規範・ネットワークの3項目で評価したソーシャル・キャピタル得点)の高低が、高齢期の健康長寿の指標として、認知症発症と死亡に関連していることが示された(Shirai K, et al, 2017)。

(4)加えて、地域において社会参加を行うことが、22%の認知症発症リスク低減と関連していた。さらに社会参加活動時に、役割を持って参加することが19%認知症発症リスク低減と関連していることが確認された(Nemoto Y, et al, 2017)。

(5)また、社会関係の多様性が大きいことが認知症発症リスク低減と関連していた(Saito T, et al, 2018)。具体的には、配偶者、同居家族、友人、地域グループ、就労の5つの社会関係が維持されている者で、認知症発症リスクが低い傾向がみられた。

(6)社会関係資本について、特定化信頼と一般化信頼が、農村と都市部における健康との関連性において違いがあることを示した(Sato Y, et al, 2018)。

(7)個人・地域レベルの社会関係資本と、要介護認定レベルの改善が関連していることが示された(Amemiya A, et al, 2019)。

その他、要因として、社会経済的背景と相対的貧困(Shirai K, et al, 2017)(Gero K, et al, 2017)、生きがい感(Shirai K, et al, 2019)、幸福感(Shirai K, 2016)、笑い(Hayashi K, 2017)などのポジティブな心理要因や、組織参加、ソーシャルサポートのバランスや多寡等の社会関係の要因が、高齢期の死亡・認知症・要介護認定・日常生活機能維持・うつ症状を指標とした健康長寿の実現と維持に関連する要因であることが確認された。

本研究の結果は、学術報告と共に地域での研修会、ワークショップ等に使用して地域住民と共有すると共に、地域における介護予防・健康づくりプログラム策定のための資料として、自治体等にて活用された。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計47件（うち査読付論文 47件 / うち国際共著 27件 / うちオープンアクセス 47件）

1. 著者名 Sakaniwa Ryoto, Tromp Jasper, Shirai Kokoro, Yamagishi Kazumasa, Tamakoshi Akiko, Iso Hiroyasu	4. 巻 -
2. 論文標題 The association of conventionally medicated systolic and diastolic blood pressure level and mortality from cardiovascular disease: is the lower the better in high stroke population?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Research in Cardiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1007/s00392-019-01587-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Li Yuting, Eshak Ehab S, Shirai Kokoro, Liu Keyang, Dong JY, Iso Hiroyasu, Tamakoshi Akiko, the JACC Study Group	4. 巻 -
2. 論文標題 Alcohol Consumption and Risk of Gastric Cancer: The Japan Collaborative Cohort Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.2188/jea.JE20190304	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Saito Tami, Cable Noriko, Aida Jun, Shirai Kokoro, Saito Masashige, Kondo Katsunori	4. 巻 19
2. 論文標題 Validation study on a Japanese version of the three item UCLA Loneliness Scale among community dwelling older adults	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 1068 ~ 1069
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1111/ggi.13758	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Amemiya Airi, Fujiwara Takeo, Shirai Kokoro, Kondo Katsunori, Oksanen Tuula, Pentti Jaana, Vahtera Jussi	4. 巻 9
2. 論文標題 Association between adverse childhood experiences and adult diseases in older adults: a comparative cross-sectional study in Japan and Finland	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e024609
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1136/bmjopen-2018-024609	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamada Keiko, Kubota Yasuhiko, Tabuchi Takahiro, Shirai Kokoro, Iso Hiroyasu, Kondo Naoki, Kondo Katsunori	4. 巻 9
2. 論文標題 A prospective study of knee pain, low back pain, and risk of dementia: the JAGES project	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 10690
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1038/s41598-019-47005-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujiwara Takeo, Weisman Omri, Ochi Manami, Shirai Kokoro, Matsumoto Kenji, Noguchi Emiko, Feldman Ruth	4. 巻 102
2. 論文標題 Genetic and peripheral markers of the oxytocin system and parental care jointly support the cross-generational transmission of bonding across three generations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychoneuroendocrinology	6. 最初と最後の頁 172 ~ 181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.psyneuen.2018.12.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wang Mengying, Muraki Isao, Liu Keyang, Shirai Kokoro, Tamakoshi Akiko, Hu Yonghua, Iso Hiroyasu	4. 巻 -
2. 論文標題 Diabetes and Mortality From Respiratory Diseases: The Japan Collaborative Cohort Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.2188/jea.JE20190091	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Saito Tami, Oksanen Tuula, Shirai Kokoro, Fujiwara Takeo, Pentti Jaana, Vahtera Jussi	4. 巻 -
2. 論文標題 Combined Effect of Marriage and Education on Mortality: A Cross-national Study of Older Japanese and Finnish Men and Women	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.2188/jea.JE20190061	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tanigawa Kanami, Ikehara Satoyo, Kimura Takashi, Imano Hironori, Muraki Isao, Shirai Kokoro, Tamakoshi Akiko, Iso Hiroyasu	4. 巻 -
2. 論文標題 Relationships Between Reproductive History and Mortality From Cardiovascular Diseases Among Japanese Women: The Japan Collaborative Cohort Study for Evaluation of Cancer Risk (JACC) Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.2188/jea.JE20190020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato Koryu, Viswanath Kasisomayajula, Hayashi Hana, Ishikawa Yoshiki, Kondo Katsunori, Shirai Kokoro, Kondo Naoki, Nakagawa Keisuke, Kawachi Ichiro	4. 巻 221
2. 論文標題 Association between exposure to health information and mortality: Reduced mortality among women exposed to information via TV programs	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Social Science & Medicine	6. 最初と最後の頁 124 ~ 131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.socscimed.2018.12.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Baba Sachiko, S. Eshak Ehab, Shirai Kokoro, Fujiwara Takeo, Yamaoka Yui, Iso Hiroyasu	4. 巻 -
2. 論文標題 Factors Associated With Family Member 's Spanking of 3.5-year-old Children in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.2188/jea.JE20190160	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato Koryu, Amemiya Airi, Haseda Maho, Takagi Daisuke, Kanamori Mariko, Kondo Katsunori, Kondo Naoki	4. 巻 -
2. 論文標題 Post-disaster Changes in Social Capital and Mental Health: A Natural Experiment from the 2016 Kumamoto Earthquake	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 American Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/aje/kwaa041	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Amemiya Airi, Saito Junko, Saito Masashige, Takagi Daisuke, Haseda Maho, Tani Yukako, Kondo Katsunori, Kondo Naoki	4. 巻 16
2. 論文標題 Social Capital and the Improvement in Functional Ability among Older People in Japan: A Multilevel Survival Analysis Using JAGES Data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 1310 ~ 1310
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph16081310	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hosokawa Rikuya, Kondo Katsunori, Ito Michiyo, Miyaguni Yasuhiro, Mizutani Seiko, Goto Fumie, Abe Yoshinobu, Tsuge Yumi, Handa Yuko, Ojima Toshiyuki	4. 巻 41
2. 論文標題 The Effectiveness of Japan's Community Centers in Facilitating Social Participation and Maintaining the Functional Capacity of Older People	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Research on Aging	6. 最初と最後の頁 315 ~ 335
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0164027518805918	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi Miwa, Inoue Yosuke, Shinozaki Tomohiro, Saito Masashige, Takagi Daisuke, Kondo Katsunori, Kondo Naoki	4. 巻 29
2. 論文標題 Community Social Capital and Depressive Symptoms Among Older People in Japan: A Multilevel Longitudinal Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 363 ~ 369
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20180078	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ide Kazushige, Tsuji Taishi, Kanamori Satoru, Jeong Seungwon, Nagamine Yuiko, Kondo Katsunori	4. 巻 17
2. 論文標題 Social Participation and Functional Decline: A Comparative Study of Rural and Urban Older People, Using Japan Gerontological Evaluation Study Longitudinal Data	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 617 ~ 617
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph17020617	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji Taishi, Kanamori Satoru, Miyaguni Yasuhiro, Hanazato Masamichi, Kondo Katsunori	4. 巻 51
2. 論文標題 Community-Level Sports Group Participation and the Risk of Cognitive Impairment	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Medicine & Science in Sports & Exercise	6. 最初と最後の頁 2217 ~ 2223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1249/MSS.0000000000002050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe Ryota, Kondo Katsunori, Saito Tami, Tsuji Taishi, Hayashi Takahiro, Ikeda Takaaki, Takeda Tokunori	4. 巻 16
2. 論文標題 Change in Municipality-Level Health-Related Social Capital and Depressive Symptoms: Ecological and 5-Year Repeated Cross-Sectional Study from the JAGES	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 2038 ~ 2038
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph16112038	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki Yuri, Tsuji Taishi, Koyama Shihoko, Tani Yukako, Saito Tami, Kondo Katsunori, Kawachi Ichiro, Aida Jun	4. 巻 17
2. 論文標題 Neighborhood Ties Reduced Depressive Symptoms in Older Disaster Survivors: Iwanuma Study, a Natural Experiment	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 337 ~ 337
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph17010337	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsuji Taishi, Kanamori Satoru, Saito Masashige, Watanabe Ryota, Miyaguni Yasuhiro, Kondo Katsunori	4. 巻 38
2. 論文標題 Specific types of sports and exercise group participation and socio-psychological health in older people	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Sports Sciences	6. 最初と最後の頁 422 ~ 429
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/02640414.2019.1705541	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Sasaki Yuri, Aida Jun, Tsuji Taishi, Koyama Shihoko, Tsuboya Toru, Saito Tami, Kondo Katsunori, Kawachi Ichiro	4. 巻 9
2. 論文標題 Pre-disaster social support is protective for onset of post-disaster depression: Prospective study from the Great East Japan Earthquake & Tsunami	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-55953-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Noguchi Taiji, Kondo Katsunori, Saito Masashige, Nakagawa-Senda Hiroko, Suzuki Sadao	4. 巻 9
2. 論文標題 Community social capital and the onset of functional disability among older adults in Japan: a multilevel longitudinal study using Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES) data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e029279
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2019-029279	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirokawa Kumi, Ohira Tetsuya, Kajiura Mitsugu, Imano Hironori, Kitamura Akihiko, Kiyama Masahiko, Okada Takeo, Iso Hiroyasu	4. 巻 10
2. 論文標題 Cardiovascular reactivity to acute stress associated with sickness absence among Japanese men and women: A prospective study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain and Behavior	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.1541	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shirai K, Iso H	4. 巻 264(4)
2. 論文標題 Life course approach and non-communicable disease in Japan: Japanese Cohort Studies based on life stages	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of clinical and experimental medicine	6. 最初と最後の頁 283-287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara T, Weisman O, Ochi M, Shirai K, Matsumoto K, Noguchi E, Feldman R.	4. 巻 102
2. 論文標題 Genetic and peripheral markers of the oxytocin system and parental care jointly support the cross-generational transmission of bonding across three generations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychoneuroendocrinology.	6. 最初と最後の頁 172-181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.psyneuen.2018.12.004.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato Y, Aida J, Tsuboya T, Shirai K, Koyama S, Matsuyama Y, Kondo K, Osaka K.	4. 巻 202
2. 論文標題 Generalized and particularized trust for health between urban and rural residents in Japan: A cohort study from the JAGES project.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Soc Sci Med.	6. 最初と最後の頁 43-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi:10.1016/j.socscimed.2018.02.015.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji T, Amemiya A, Shirai K, Stenholm S, Pentti J, Oksanen T, Vahtera J, Kondo K.	4. 巻 25, 18(1)
2. 論文標題 Association between education and television viewing among older working and retired people: a comparative study of Finland and Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BMC Public Health	6. 最初と最後の頁 917
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1186/s12889-018-5860-4.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Imai Y, Nagai M, Ohira T, Shirai K, Kondo N, Kondo K.	4. 巻 8(7)
2. 論文標題 Impact of social relationships on income-laughter relationships among older people: the JAGES cross-sectional study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e019104.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) .doi: 10.1136/bmjopen-2017-019104.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nemoto Y, Saito T, Kanamori S, Tsuji T, Shirai K, Kikuchi H, Maruo K, Arao T, Kondo K.	4. 巻 17(1)
2. 論文標題 An additive effect of leading role in the organization between social participation and dementia onset among Japanese older adults: the AGES cohort study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BMC Geriatr	6. 最初と最後の頁 297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-017-0688-9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Gero K, Kondo K, Kondo N, Shirai K, Kawachi I.	4. 巻 189
2. 論文標題 Associations of relative deprivation and income rank with depressive symptoms among older adults in Japan.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Soc Sci Med	6. 最初と最後の頁 138-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.socscimed.2017.07.028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yokobayashi K, Kawachi I, Kondo K, Kondo N, Nagamine Y, Tani Y, Shirai K, Tazuma S; JAGES group	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 Association between Social Relationship and Glycemic Control among Older Japanese: JAGES Cross-Sectional Study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0169904
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1371/journal.pone.0169904	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujiwara T, Takamoto I, Amemiya A, Hanazato M, Suzuki N, Nagamine Y, Sasaki Y, Tani Y, Yazawa A, Inoue Y, Shirai K, Shobugawa Y, Kondo N, Kondo K.	4. 巻 182
2. 論文標題 Is a hilly neighborhood environment associated with diabetes mellitus among older people? Results from the JAGES 2010 study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Soc Sci Med	6. 最初と最後の頁 45-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.socscimed.2017.04.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiba K, Kondo N, Kondo K, Kawachi I	4. 巻 17
2. 論文標題 Retirement and mental health: does social participation mitigate the association? A fixed-effects longitudinal analysis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BMC Public Health	6. 最初と最後の頁 526
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-017-4427-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murata C, Saito T, Tsuji T, Saito M, Kondo K	4. 巻 14
2. 論文標題 A 10-Year Follow-Up Study of Social Ties and Functional Health among the Old: The AGES Project	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 717
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph14070717	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Inoue Y, Stickley A, Yazawa A, Shirai K, Amemiya A, Kondo N, Kondo K, Ojima T, Hanazato M, Suzuki N, Fujiwara T.	4. 巻 11(10)
2. 論文標題 Neighborhood Characteristics and Cardiovascular Risk among Older People in Japan	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0164525
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0164525. eCollection 2016.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yazawa A, Inoue Y, Fujiwara T, Stickley A, Shirai K, Amemiya A, Kondo N, Watanabe C, Kondo K.	4. 巻 39(11)
2. 論文標題 Association between social participation and hypertension among older people in Japan	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Hypertension Research	6. 最初と最後の頁 818-824
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/hr.2016.78. Epub 2016 Jul 7.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kanamori S, Takamiya T, Inoue S, Kai Y, Kawachi I, Kondo K	4. 巻 6
2. 論文標題 Exercising alone versus with others and associations with subjective health status in older Japanese: The JAGES Cohort Study.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Report	6. 最初と最後の頁 39151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep39151.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aida J, Kondo K, Yamamoto T, Saito M, Ito K, Suzuki K, Osaka K, Kawachi I.	4. 巻 11(7)
2. 論文標題 Is Social Network Diversity Associated with Tooth Loss among Older Japanese Adults?	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0159970
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0159970. eCollection 2016.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koyama S, Aida J, Saito M, Kondo N, Sato Y, Matsuyama Y, Tani Y, Sasaki Y, Kondo K, Ojima T, Yamamoto T, Tsuboya T, Osaka K	4. 巻 6(4)
2. 論文標題 Community social capital and tooth loss in Japanese older people: a longitudinal cohort study.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e010768
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2015-010768.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi Kei, Kawachi Ichiro, Ohira Tetsuya, Kondo Katsunori, Shirai Kokoro, Kondo Naoki	4. 巻 26
2. 論文標題 Laughter is the Best Medicine? A Cross-Sectional Study of Cardiovascular Disease Among Older Japanese Adults	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 546 ~ 552
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20150196	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hayashi K, Kawachi I, Ohira T, Kondo K, Shirai K, Kondo N.	4. 巻 203(12)
2. 論文標題 Laughter and Subjective Health Among Community-Dwelling Older People in Japan: Cross-Sectional Analysis of the Japan Gerontological Evaluation Study Cohort Data.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 The Journal of Nervous and Mental Disease	6. 最初と最後の頁 934-952
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/NMD.0000000000000399	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

[学会発表] 計63件(うち招待講演 7件/うち国際学会 10件)

1. 発表者名 白井こころ, 磯博康, 奥園桜子, 大平哲也, 近藤克則
2. 発表標題 高齢者の生きがいの有無と認知症発症の関連の検討
3. 学会等名 第30回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Wang Y, 白井こころ, 磯博康, 大平哲也, 山口知香枝, 玉田雄大, 近藤克則
2. 発表標題 The associations between patterns of laughter and incidence of dementia among older Japanese adults
3. 学会等名 第30回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山口知香枝, 竹内研時, 玉田雄大, 白井こころ, 大平哲也, 齊藤雅茂, 近藤克則
2. 発表標題 一人で/誰かと笑うかで要介護リスクは異なるか: JAGES縦断研究
3. 学会等名 第30回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岩崎歩、寺本将行、白井こころ、玉腰暁子、磯博康
2. 発表標題 The association between living area during childhood and adult mortality: the JACC study
3. 学会等名 第30回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sakurako S. Okuzono, Harold H. Lee, Kokoro Shirai, Naoki Kondo, Laura D. Kubzansky
2. 発表標題 Optimism, ikigai and lifespan among Japanese older adults
3. 学会等名 American Psychosomatic Society (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kokoro Shirai, Hiroyasu Iso, Ichiro Kawachi, Ryoto Sakaniwa, Katsunori Kondo
2. 発表標題 Positive Psychological Determinants of Dementia in Japan
3. 学会等名 THE GERONTOLOGICAL SOCIETY OF AMERICA, Annual Scientific Meeting 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryoto Sakaniwa, Kokoro Shirai, Hiroyasu Iso, Katsunori Kondo
2. 発表標題 The life-course social economic status from childhood to elderly and dementia onset
3. 学会等名 THE GERONTOLOGICAL SOCIETY OF AMERICA, Annual Scientific Meeting 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坂庭 嶺人、崔 仁哲、Ehab eshak、白井 こころ、玉腰 暁子、磯 博康
2. 発表標題 高血圧患者における多重合併症パターンと冠動脈系疾患死亡に対する至適収縮期血圧値の検討
3. 学会等名 第42回日本高血圧学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 崎間 敦、安仁屋 文香、高倉 実、白井 こころ、島袋 真澄、金城 昇、等々力 英美、武村 克哉、奥村 耕一郎、大屋 祐輔
2. 発表標題 沖縄県地域住民における社会経済的要因と食塩摂取量の関係
3. 学会等名 第42回日本高血圧学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 白井こころ、広崎真弓、中川威、磯博康
2. 発表標題 ポジティブ感情は健康長寿に寄与するか？
3. 学会等名 日本老年社会科学会第61回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Gita Nirmala, Eshak Ehab, Shirai Kokoro, Iso Hiroyasu
2. 発表標題 Occupational Activity and Risk of Breast Cancer Incidence: The JACC Study
3. 学会等名 第78回公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 長澤真衣子、白井こころ、谷川果菜美、仲宗根正、磯博康
2. 発表標題 母親の妊娠中の飲酒と乳児のワクチン未接種との関連
3. 学会等名 第78回公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 谷川果菜美、白井こころ、長澤真衣子、仲宗根正、磯博康
2. 発表標題 3歳児の生活習慣と母親の育てにくさの認識、虐待リスクとの関連
3. 学会等名 第78回公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kokoro Shirai
2. 発表標題 Does happy people have lower risk of dementia?: psychological well-being and incident dementia ELSA and JAGES study
3. 学会等名 The 11th International Society for Sosial Capital Research (ISSC) meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 白井こころ、磯博康、谷川果菜美、長澤真衣子、田中 太郎、山縣 然太朗、仲宗根 正
2. 発表標題 周囲のサポート・父親の育児参加と母親の育てにくさの認識・虐待リスクに関する検討
3. 学会等名 日本公衆衛生学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 白井 こころ
2. 発表標題 ポジティブ心理行動介入による心身の健康づくり 地域・個人のポジティブ心理資源とヘルスプロモーション
3. 学会等名 日本公衆衛生学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長澤 真衣子, 白井 こころ, 谷川 果菜美, 仲宗根 正, 磯 博康
2. 発表標題 乳児を持つ親への産後一ヵ月の専門職からの支援と虐待リスクに関する検討
3. 学会等名 日本公衆衛生学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 谷川 果菜美, 白井 こころ, 長澤 真衣子, 仲宗根 正, 磯 博康
2. 発表標題 1歳6ヵ月児の生活習慣と母親の育てにくさの認識、虐待リスクに関する検討
3. 学会等名 日本公衆衛生学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 崎間 敦, 小浜 敬子, 安仁屋 文香, 鳥袋 真澄, 白井 こころ, 高倉 実, 金城 昇, 等々力 英美, 武村 克哉, 奥村 耕一郎, 大屋 祐輔
2. 発表標題 若年期からの生活習慣の改善と高血圧発症予防 学校給食を活用した減塩教育の実践
3. 学会等名 日本高血圧学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shirai K, Iso H, Hirai H, Saito T, Tsuji T, Sasaki Y, Kondo K
2. 発表標題 Socioeconomic status and its association with incidence of dementia among older Japanese men and women: JAGES study
3. 学会等名 The 21th World Congress on Epidemiology (WCE2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nemoto Y, Saito T, Kanamori S, Tsuji T, Shirai K, Kikuchi H, Maruo K, Arao T, Kondo K
2. 発表標題 Associations of social participation and its involvement in social activities with dementia onset in independently living community-dwelling elderly: JAGES cohort study.
3. 学会等名 The 21th World Congress on Epidemiology (WCE2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shirai K, kondo K & JAGES Study Group
2. 発表標題 Social Capital and its association with health behaviors and mortality among older Japanese men and women
3. 学会等名 International Society for Social Capital (ISSC) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 神谷義人、白井こころ、高倉実、安仁屋文香、小浜敬子、崎間敦、等々力英美、金城昇、大屋祐輔
2. 発表標題 個人レベルのソーシャル・キャピタルと主観的健康観との関連
3. 学会等名 第27回日本健康教育学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 崎間敦、等々力英美、奥村耕一郎、白井こころ、島袋真澄、安仁屋文香、小浜敬子、大屋祐輔
2. 発表標題 人と人とのつながりに着目した健康づくりの取り組み
3. 学会等名 第37回食事療法学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 神谷義人、崎間敦、等々力英美、白井こころ、島袋真澄、安仁屋文香、小浜敬子、大屋祐輔
2. 発表標題 社会環境要因、地域の健康づくり活動と肥満
3. 学会等名 第6回臨床高血圧学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 白井こころ
2. 発表標題 健康を育む社会を目指して：社会疫学からのアプローチ
3. 学会等名 第23回日本行動医学会総会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 白井こころ・大平哲也・磯博康
2. 発表標題 ポジティブ心理要因と健康：地域からのアプローチ
3. 学会等名 第76回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 白井こころ・藤原武男・井上陽介・磯博康・雨宮愛理・矢澤亜季・花里真道・鈴木規道・近藤尚己・近藤克則
2. 発表標題 地域の物理的・心理的環境要因とCKDリスクの関連についての検討
3. 学会等名 日本疫学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 白井こころ
2. 発表標題 健康長寿をめざした沖縄の課題と取り組み：ソーシャルキャピタルと健康
3. 学会等名 第25回日本健康教育学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 神谷義人・白井こころ・高倉実・安仁屋文香・小浜敬子・崎間敦・等々力英美・金城昇
2. 発表標題 「信頼感」と「主観的健康感」の関係は地域によって異なるか？
3. 学会等名 第25回日本健康教育学会学術総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小浜敬子・崎間敦・等々力英美・安仁屋文香・神谷義人・白井こころ・高倉実・金城昇
2. 発表標題 沖縄県在住の女性における体格と関連要因の検討
3. 学会等名 第25回日本健康教育学会学術総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 安仁屋文香・等々力英美・崎間敦・小浜敬子・神谷義人・白井こころ・高倉実・金城昇
2. 発表標題 エネルギー産生栄養素の摂取状況と年齢・BMIの関係
3. 学会等名 第25回日本健康教育学会学術総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 崎間敦・白井こころ・奥村耕一郎・田名毅
2. 発表標題 健康長寿へ向けた沖縄の課題と取り組み
3. 学会等名 第25回日本健康教育学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 白井こころ
2. 発表標題 沖縄の健康長寿と今後の課題：経済格差・健康格差と社会関係資本
3. 学会等名 第26回九州農村医学会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Fumika Aniya, Atsushi Sakima, Hidemi Todoriki, Keiko Kohama, Kokoro Shirai, Koichiro Okumura, Minoru Takakura, Noboru Kinjo, Yoshito Kamiya, Ohya Yusuke
2. 発表標題 Association between drinking habit and food intake in general population of Okinawa
3. 学会等名 The 6th Asian Congress of Health Psychology (ACHP2016) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小浜敬子・崎間敦・安仁屋文香・等々力英美・白井こころ・奥村耕一郎・神谷義人・高倉実・金城昇・武村克哉・大屋祐輔
2. 発表標題 沖縄県在住の小学生・保護者および地域住民における栄養課題
3. 学会等名 第39回日本高血圧学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 安仁屋文香・崎間敦・等々力英美・小浜敬子・白井こころ・奥村耕一郎・高倉実・金城昇・神谷義人・大屋祐輔
2. 発表標題 一般集団における飲酒量と体格・食塩・野菜・果実の摂取量の関係：簡易型自記式食事歴法質問票を用いた検討
3. 学会等名 第39回日本高血圧学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 崎間敦・等々力英美・白井こころ・奥村耕一郎・安仁屋文香・小浜敬子・神谷義人・高倉実・金城昇・武村克哉・大屋祐輔
2. 発表標題 食事情報介入とソーシャル・キャピタルを活用した健康づくりの実践
3. 学会等名 第39回日本高血圧学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小浜敬子・神谷義人・白井こころ・高倉実・等々力英美・金城昇
2. 発表標題 鳥嶼県沖縄に在住する小学児童の栄養とその課題
3. 学会等名 第75回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 平井寛・尾島俊之・近藤尚己・白井こころ・近藤克則
2. 発表標題 高齢者における買い物環境と食物摂取との関連の検討
3. 学会等名 第75回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 島井哲志・尾島俊之・大平哲也・島津明人・白井こころ・山田富美雄・山野洋一・上地広昭
2. 発表標題 ポジティブ心理要因と健康：地域・職域における健康資源／ポジティブ心理介入の可能性
3. 学会等名 第75回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 神谷義人・小浜敬子・白井こころ・高倉実・等々力英美・金城昇
2. 発表標題 地域健康づくりと地域住民のBody mass index
3. 学会等名 第75回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 白井こころ
2. 発表標題 健康の社会的決定要因からみる健康長寿とポジティブ心理要因・社会関係資本との関係
3. 学会等名 第75回日本公衆衛生学会総会（奨励賞受賞講演）（招待講演）
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 宮國康弘・田淵貴大・相田潤・斎藤雅茂・尾島俊之・白井こころ・近藤克則
2. 発表標題 地域レベルの社会的サポートと認知症発症との関連：JAGES縦断研究
3. 学会等名 第75回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 白井こころ・磯博康・尾島俊之・相田潤・松山祐輔・藤原武雄・雨宮愛理・近藤尚己・村山洋史・斎藤民・辻大志・奥園桜子・佐藤峻・近藤克則
2. 発表標題 地域在住高齢者の“幸福感”と死亡・認知症発症との関連についての検討
3. 学会等名 第75回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤克則・白井こころ・佐藤峻・奥園桜子
2. 発表標題 地域診断指標としての高齢者における幸福感指標の検討
3. 学会等名 第75回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本清明・白井こころ
2. 発表標題 祭りの参加意思とソーシャル・キャピタルおよび健康指標との関連
3. 学会等名 第11回日本応用老年学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小浜敬子・崎間敦・高倉実・白井こころ・安仁屋文香・神谷 義人・町田貴和子・與儀わかな・島袋真澄・金城昇・等々力英美・奥村耕一郎・武村克哉・大屋 祐輔
2. 発表標題 沖縄県に在住する小学児童の栄養実態の地域比較：琉球大学ゆい健康プロジェクトベースライン調査報告
3. 学会等名 第48回沖縄県公衆衛生学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 安仁屋文香・白井こころ・崎間敦・等々力英美・小浜敬子・町田貴和子・與儀わかな・島袋真澄・神谷義人・奥村耕一郎・高倉実・金城昇・武村克哉・大屋祐輔
2. 発表標題 沖縄県在住の地域住民における多量飲酒者の年代別食生活実態：琉球大学ゆい健康プロジェクトベースライン調査報告
3. 学会等名 第48回沖縄県公衆衛生学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 神谷義人・高倉実・金城昇・崎間敦・白井こころ・安仁屋文香・小浜敬子・町田貴和子・與儀わかな・島袋真澄・等々力英美・奥村耕一郎・武村克哉・大屋祐輔
2. 発表標題 沖縄県在住の成人における身体活動とソーシャル・キャピタルとの関連：琉球大学ゆい健康プロジェクトベースライン調査報告
3. 学会等名 第48回沖縄県公衆衛生学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shirai K, Iso H, Kawachi I, Aida J, Fujiwara T, Saito T, Ojima T, Kondo K
2. 発表標題 Does Social Capital Reduce the Risks of Dementia among Older Japanese : JAGES project
3. 学会等名 68th Gerontological society of America (GSA) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 白井こころ・大平哲也・磯博康・林慧・近藤尚己・近藤克則・永井雅人・今井友里加・Ichiro Kawachi.
2. 発表標題 高齢期における「笑い」と日常生活機能との関係：JAGES Project 2013
3. 学会等名 日本老年社会科学会第57回大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 垣本 啓介・白井 こころ
2. 発表標題 沖縄県高齢者における受診抑制関連要因の検討：医師・患者関係の観点から
3. 学会等名 第47回沖縄県公衆衛生学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 神谷 義人・安仁屋 文香・小浜 敬子・上原 美郷・西平 淳子・大屋 祐輔・奥村 耕一郎・高倉 実・金城 昇・崎間 敦・白井 こころ・等々力 英美・武村 克哉
2. 発表標題 沖縄県在住の成人における推奨身体活動とBody Mass Indexの関連：ゆい健康プロジェクトベースライン調査報告
3. 学会等名 第47回沖縄県公衆衛生学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 安仁屋 文香・小浜 敬子・上原 美郷・神谷 義人・西平 淳子・大屋 祐輔・崎間 敦・等々力 英美・白井 こころ・奥村 耕一郎・高倉 実・金城 昇・武村 克哉
2. 発表標題 沖縄県在住の成人における年齢別エネルギー産生栄養素量の比較：ゆい健康プロジェクトベースライン調査報告
3. 学会等名 第47回沖縄県公衆衛生学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小浜 敬子・安仁屋 文香・上原 美郷・神谷 義人・大屋 祐輔・西平 淳子・白井 ころこ・崎間 敦・高倉 実・等々力 英美・奥村 耕一郎・武村 克哉
2. 発表標題 沖縄県在住の成人における主観的健康感と関連要因の検討：ゆい健康プロジェクトベースライン調査報告
3. 学会等名 第47回沖縄県公衆衛生学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 上原美郷・安仁屋文香・小浜敬子・神谷義人・西平淳子・大屋祐輔・崎間敦・高倉実・白井ころこ・等々力英美・武村克哉・奥村耕一郎
2. 発表標題 沖縄県在住の成人における食べる速さとBody Mass Indexの関連について：ゆい健康プロジェクトベースライン調査報告
3. 学会等名 第47回沖縄県公衆衛生学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 白井ころこ, 大平哲也, 磯博康, 広崎真弓, 永井雅人, 今井友里加, 林慧, 近藤尚己, 近藤克則
2. 発表標題 高齢者の笑いと糖尿病有病の関係についての検討：JAGES Study
3. 学会等名 第74回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐藤遊洋、相田潤、白井ころこ、坪谷透、小山史穂子、松山祐輔、小坂健、近藤克則
2. 発表標題 普遍化信頼および特定化信頼と主観的健康感の関連の研究：JAGESプロジェクト
3. 学会等名 第74回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 坂庭嶺人、藤原武男、佐々木由理、白井こころ、近藤尚己、北村明彦、磯博康、近藤克則
2. 発表標題 小児期の貧困経験が高齢期の認知症発症に与える影響：JAGESコホート研究
3. 学会等名 第74回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Shirai Kokoro, Iso Hiroyasu, Fujiwara Takeo, Aida Jun, Hirai Hiroshi, Ojima Toshiyuki, Kondo Katsunori.
2. 発表標題 Social Capital and participation in health screening in the community: the JAGES project.
3. 学会等名 第25回日本疫学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Shirai K, Kondo K, Hikichi H, Ichiro K
2. 発表標題 Social connectedness, Social Capital and Health in Okinawa and Japan
3. 学会等名 World Health Summit Regional Meeting Asia KYOTO 2015 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計5件

1. 著者名 近藤克則編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 288
3. 書名 ソーシャル・キャピタルと健康・福祉: 実証研究の手法から政策・実践への応用まで (叢書ソーシャル・キャピタル 6)	

1. 著者名 日本疫学会（監修）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 216
3. 書名 はじめて学ぶやさしい疫学（改定第3版）	

1. 著者名 高尾総司、藤原武男、近藤尚己(翻訳) / Berkman, Lisa F, Ichiro Kawachi, Glymour, M. Maria	4. 発行年 2017年
2. 出版社 大修館書店	5. 総ページ数 391
3. 書名 社会疫学<上>	

1. 著者名 高尾総司、藤原武男、近藤尚己(翻訳) / Berkman, Lisa F, Ichiro Kawachi, Glymour, M. Maria	4. 発行年 2017年
2. 出版社 大修館書店	5. 総ページ数 425
3. 書名 社会疫学<下>	

1. 著者名 大竹恵子編著（16章：公衆衛生からみた健康づくりとポジティブヘルス）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 278
3. 書名 保健と健康の心理学：ポジティブヘルスの実現	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	近藤 克則  (Katsunori Kondo)  (20298558)	千葉大学・予防医学センター・教授    (12501)	
研究分担者	磯 博康  (Iso Hiroyasu)  (50223053)	大阪大学・医学系研究科・教授    (14401)	
研究分担者	尾島 俊之  (Toshiyuki Ojima)  (50275674)	浜松医科大学・医学部・教授    (13802)	
研究分担者	大平 哲也  (Ohira Tetsuya)  (50448031)	福島県立医科大学・医学部・教授    (21601)	